

令和6年度 浜名湖プランクトン・海況調査速報 No.9

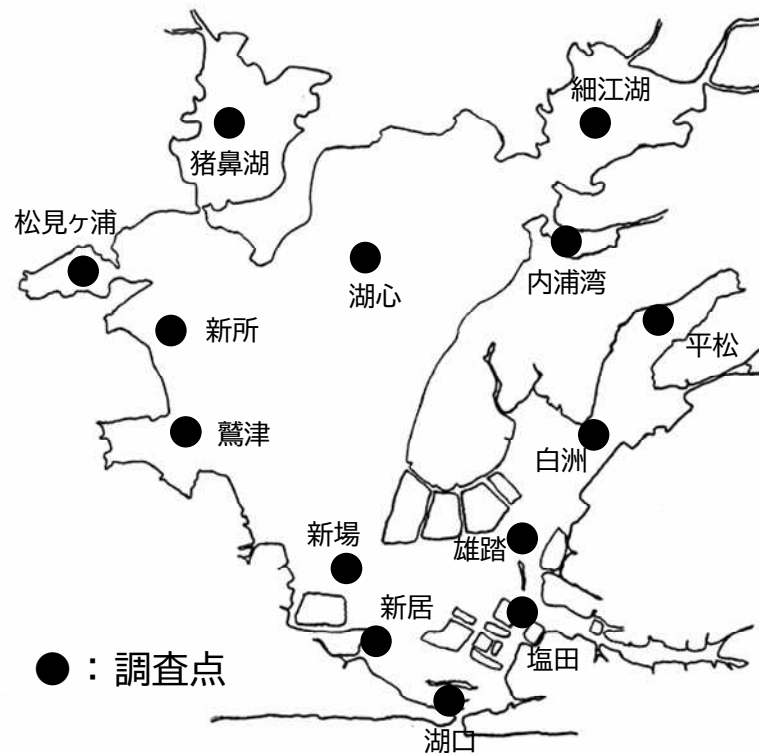
地点	水深 (m)	水温 (℃)	塩分	珪藻※	有害・有毒 プランクトン
内浦湾	0.0	10.2	28.4	◎	発生なし
	2.0	10.2	28.4		
	4.0	12.1	31.0		
細江湖	0.0	9.6	23.0	◎	
	2.0	12.5	30.7		
	4.0	12.3	31.0		
湖心	0.0	12.0	31.3	◎	
	2.0	12.0	31.3		
	4.0	12.0	31.4		
	6.0	12.0	31.4		
猪鼻湖	0.0	11.0	30.5	◎	
	2.0	11.1	30.5		
	4.0	11.1	30.5		
松見ヶ浦	0.0	11.7	31.3	◎	
	2.0	11.9	31.4		
新所	0.0	11.9	31.3	○	
鷺津	0.0	11.5	31.3	○	
	2.0	11.5	31.3		
新場	0.0	11.7	31.7	◎	
	2.0	11.8	31.8		
平松	0.0	10.7	26.6	△	
	2.0	11.1	27.8		
白洲	0.0	8.5	28.7	×	
	1.5	8.6	28.7		
雄踏	0.0	9.1	30.5	×	
塩田	0.0	8.2	23.2	△	
湖口	0.0	11.7	31.1	×	
新居	0.0	11.2	31.8	△	

発生なし

※ ◎：多い ○：中程度 △：少ない ×：極めて少ない(または無し)

調査日：12月10日(火)

提供日：令和6年12月11日(水)
静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場
(TEL 053-592-0139)



○内浦、平松では、動物プランクトンの1種であるメソディニウム・ルブラム(セン毛虫)が確認されました。
本種は養殖マガキの赤変を引き起こす可能性がありますので、ご注意ください。

○ 湖北部と新場で、珪藻が多く確認されました。

○ 水温が、前回調査時(11/6:平均22.4℃)から、約10℃下がりました。